

指定管理者評価シート

事業名	青少年山の家運営管理費	所管課(電話番号)	教)生涯学習推進課 (211-3872)
-----	-------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市青少年山の家	所在地	南区滝野247番地
開設時期	平成元年9月	延床面積	5,234㎡
目的	自然環境の中における宿泊を伴う集団生活、野外活動その他の活動を通じて青少年の健全な育成を図ることを目的とする。		
事業概要	野外活動の指導助言・普及振興・調査研究、施設の利用調整など		
主要施設	管理研修棟、宿泊棟、多目的ホール		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1施設		
	複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	①統括管理業務 ②施設・設備等の維持及び管理に関する業務 ③施設における事業の計画及び実施に関する業務 ④施設の利用等に関する業務 ⑤前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位			
	施設数: 1施設		
	複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和5年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限がなくなり、利用団体数、利用者数ともに平時の状況に回復した。特に一般団体の利用が多くなり、利用方法や事業についても滞りなく実施することができた。 活動プログラムでは、野外炊事をはじめ、各種体験プログラムの開発を推進し、野鳥や防災をテーマにしたプログラムをモニター実施するなど参加者自身が探求できる活動について取り組んだ。小学校の宿泊学習に対する支援については、合同下見会の内容の充実を図り、合同説明会はオンラインで実施し、参加しやすくわかりやすい内容とした。主催事業では、体験活動の機会の拡充、収益の改善をテーマに、空き室活用事業の実施や、社会課題解決事業としてRe滝野事業に取り組み、経済的事情で自然体験活動に参加しづらい児童家庭を対象に各種体験プログラムを実施した。 施設管理については、原油価格及び物価上昇に伴い、委託契約内容の見直しや、省エネルギーに取り組むことで、経費の節減に務めた。また、日常点検を充実させ、大きな修繕や事故を未然に防ぐように取り組んだ。また、植栽樹木等の管理や外構部を計画的に維持管理することで環境美化にも取り組んだ。	社会情勢の変化、利用者のニーズに常に対応するために、指定管理業務計画書の検証、自己評価を随時行い、課題認識と優先順位を検討しながら施設管理運営を行った。	A	B	C	D
	管理運営業務の基本方針を「体験をとことん楽しむ”探求の家”」と題し、5つの重点目標を掲げて運営を行った。各目標に沿った取組を実践されており、現指定管理初年度の土台となる成果を上げられている。					
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 平等利用を確保するため、使用承認に関連する札幌市青少年山の家条例、同条例施行規則及び各種取扱要領等に関する理解と、必要な利用者対応について、日常的に職員間で確認し統一を図った。	地方自治法第244条第2項及び第3項を遵守するとともに、札幌市青少年山の家条例をはじめ、関係法令、社会通念を鑑み、すべての市民及び団体に対して平等利用の確保を行った。	条例、施行規則及び各種取扱要領に関する理解と必要な利用者対応について日常的に職員間で共有できる体制を確保するなど、基本方針に基づき具体的な対応が行われている。			

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

札幌市の環境方針及び札幌市環境マネジメントシステムに基づき作成した職員環境行動マニュアルに沿って、職員一人ひとりが行動を起こせるよう、日常業務や打合せで確認を行った。また、職員研修においても環境教育の充実を図った。その他、ペーパーレスを目指しデジタルデバイスの活用を進め、裏紙の再利用についても取り組んだ。また、節電、節水についても省エネについて考えてもらう掲示物の作成や活動プログラムに反映させるなど、利用者とともに積極的に取り組んだ。

指定管理業務の遂行にあたっては、温室効果ガス排出量の削減につながるエネルギー使用量を計画し、事業活動のあらゆる場面において、訪れる市民への環境配慮行動の啓発を行った。

エネルギー使用の検討・見直しを行い、職員はもとより、利用者に対しても省エネについて呼びかけを行うなど、環境配慮の啓発に努めている。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

統括責任者として館長に野外施設部長を配置し、当財団が指定管理者である、定山溪自然の村、北方自然教育園及び財団が自主運営する滝野自然学園を含め、事業や研修等に複合的に取り組み、相乗効果を図った。

また、研修計画に基づき、職員の資質向上のため各種研修を実施し、施設の衛生管理、マネジメントについて学ぶ機会や、オンライン型研修の機会を活用し、専門的知識や新しい情報の習得を図った。併せて、公園を管理する公園管理事務所及び公園指定管理者SPAC滝野管理センターとの良好な関係の維持に努めた。

当財団他施設と連携し、野外教育施設職員として必要な資質の向上に努めた。研修では、安全管理や事業について学び実践的に人材を育成した。また、滝野公園事業連携にも積極的に取り組んだ。

統括責任者、職務代理者を配置し、山の家の管理運営業務を適切に行い得る組織を整備・維持に努めており、専門的な知識を有する職員を配置するほか、職員に対して、業務上必要とされる研修を実施し、人材育成に努めている。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

利用者アンケートや利用対応を通して寄せられた要望・意見に関する情報は、随時、職員間に共有し、迅速に改善できるように取り組んだ。職員間の情報共有では、当財団内のシステムを活用し、全職員が集まる機会が限られた中でも、迅速に連携できるよう工夫を図った。

その他、安全点検を含めて始業時の朝礼と終礼を毎日実施した他、各担当者同士の会議、運営に関わる会議、全体での会議を使い分け、効果的かつ効率的に会議等を実施した。公園管理者とは公園合同連絡会議、安全衛生協議会を通じて連絡調整の機会を定期的に設けた。

利用団体の満足度の向上や新規利用の獲得へ向けた広報等について、随時検討を重ねた。管理水準の維持及び更なる向上のため、施設職員、当財団の他部門職員、公園管理者との情報共有・連携を行った。

アンケート等で寄せられた要望・意見に関し、迅速に対応できる体制を整えられている。また、組織内のみならず、関係機関とも定期的な会議の中で連絡・調整の機会を設けている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

資格及び専門的知識・経験を必要とする業務については、当財団の規定に基づき業者選定や入札等の手続きを適切に行い、専門業者に委託した。委託業務の履行にあたっては、市民サービスの向上へ向け、利用者の安全の確保に十分に留意し進めた。

- ・警備業務 ・清掃業務 ・滝野の森口門衛業務
- ・建築物環境衛生管理技術者委託業務
- ・自家用電気工作物保安管理 ・塵芥処理業務
- ・利用状況管理システム保守業務 ・リネンサプライ業務 ・給食業務 ・屋内外雑排水管清掃
- ・汚水槽グリスピット清掃 ・消防設備点検
- ・地下タンク埋設管点検 ・空気環境測定
- ・受水槽・貯湯槽等清掃消毒点検
- ・水質検査 ・石油燃焼機器点検
- ・浴場用ろ過循環配管薬品清掃業務
- ・高温風暖房機保守点検
- ・吸煙装置保守点検業務(昇降点検)
- ・吸煙装置保守点検業務(排風機点検)
- ・研修棟温水ボイラー煤煙濃度測定
- ・多目的ホール研修棟ボイラー整備業務
- ・ねずみ衛生害虫等防除業務(4、8、10、12、2月)
- ・建築基準法12条に基づく点検(設備点検)

主に食堂業者に対しては、アレルギーや異物混入、食品衛生管理に関わる研修の実施や、情報交換を実施した。清掃業者については、感染症予防に関わる消毒作業の管理、施設の清掃状況の管理について情報共有を行った。今後も、安全衛生について随時、確認を行い履行水準の確保に努めていく。

再委託にかかる入札方法や仕様等について適宜見直しが行われており、委託した業務が適切に行われるよう受託事業者とも連携が図られている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	令和5年6月16日(金) ＜配布資料＞令和4年度年度利用状況、アンケート調査結果について、令和4年度年度事業報告、令和5年度年度事業計画について
第2回	令和5年12月13日(水) ＜配布資料＞令和5年度利用状況、アンケート調査結果報告、令和5年度事業中途報告(上半期分)、令和5年度下半期事業予定等について

運営協議会では、活動が通常に戻ったことでの変化についての報告を行った。
また、新たな事業としてコロナ禍で宿泊活動ができなかった子どもたちへの支援事業を行い、委員より実施について大きな評価をいただいた。

定期的に運営協議会を開催して事業報告等を行っており、会議内容について施設内にも掲示されている。
また、関係機関等の一覧表を作成し、事案ごとに連絡体制を整理するなど、適切に対応されている。

＜協議会メンバー＞

- ・札幌市教育委員会生涯学習部
生涯学習推進課長
- ・国土交通省北海道開発局札幌開発建設部
国営滝野すずらん丘陵公園事務所 総務課長
- ・札幌市小学校長会 副会長
- ・札幌市野外活動教育研究会 会長
- ・公益社団法人札幌市子ども会育成連合会
本部事務局長
- ・北翔大学 生涯スポーツ学部
健康福祉学科 准教授
- ・芸術の森地区連合会 会長
- ・滝野町内会 会長
- ・青少年山の家ボランティア代表
- ・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
野外施設部長(札幌市青少年山の家 館長)

【滝野公園連絡会議】

- ・日 程 4～3月(月1回)、年間12回開催
- ・メンバー 国営滝野すずらん丘陵公園事務所
滝野管理センター
- ・内 容 月の利用状況等の確認、協議連絡

【滝野公園安全衛生会議】

- ・日 程 6～2月(月1回)、年間9回開催
- ・メンバー 国営滝野すずらん丘陵公園事務所、
滝野管理センター、
公園内工事等の各業者
- ・内 容 月の工事予定、安全管理について

【CISEネットワーク会議】

- ・日 程 運営委員会:6月、11月(オンライン)
- ・メンバー 北大総合博物館を中心とした
札幌市周辺のエデュ施設(25施設)
- ・内 容 事業計画、教材開発、
事業の実施について

国営滝野すずらん丘陵公園へのヒグマ侵入は無かったが、公園事務所と随時協議し、開園時間外の安全確保と利用環境確保についてすり合わせを行った。引き続き良好な関係を維持し、会議以外の場においても、日頃から密に情報共有を行っていく。

オンライン会議を通じて準備を進めながら、他団体との関係性の構築及び情報交換を図った。

	<p>【北海道青少年教育施設協議会会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 程 5月総会・研究協議会(オンライン) 6月、10月、3月研修会 ・メンバー 国立日高青少年交流の家、 大雪青少年自然の家、道内各ネイパル 他、施設協議会加盟施設(全17施設) ・内 容 総会、研修会、交流会他 <p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>指定管理者として、また公益財団法人としての社会的責任(CSR)を自覚するとともに、その責任を果たすべく、法令等の遵守を徹底し、当財団の処務規程及び財務規程に則り、適正に資金管理を行った。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>利用者及びその他の市民からの要望・苦情等に対して、常に誠実な姿勢で聞き取りを行うとともに、要望・苦情等の根本となる要因の把握に努め、利用者の立場に立って迅速・丁寧に対応した。また、全職員で遅滞なく情報を共有し、対応に差異が生じないように取り組むとともに、要望・苦情等をサービス向上の機会と捉え、その後の利用サービスに反映させることで、利用者満足度の向上に努めた。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>指定管理業務の実施に関する記録・帳簿等を整備し、当財団の処務規定に基づき適正に保管した。また、統括責任者が中心となってマネジメントに努め、利用統計、利用者アンケート、利用者の声、職員の自己評価などを施設運営の改善につなげるとともに、翌年度の事業計画への反映を図った。</p>	<p>研修会は実践的な学びの場となった。また、各施設と情報交換を行うことができ、得られた知見を施設の運営向上へとつなげた。</p> <p>当財団が定める処務規程と金券等取扱要領に基づき、金銭の取扱い及び経理事務を適正に行った。</p> <p>アンケート等に記載があった場合は、受取り時点で団体代表者から詳細を聞き取ることを徹底し、以降の類似ケースの発生低減に務めた。</p> <p>利用者対象アンケート調査により満足度の測定を行い、各項目において数値目標を達成することができた。今後も継続して取り組む。</p>	<p>財務検査の結果、適正に実施されていることを確認した。</p> <p>要望・苦情に対しては、迅速かつ適切な対応が取られている。</p> <p>業務検査を通じて、適正に記録・管理されていることを確認した。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>労働基準法、労働安全衛生法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の労働関係法令を遵守するため、就業規則を整備し、必要な届け出を確実に行うとともに適切な労務管理を行った。また、職員一人ひとりのライフスタイルに合わせた働き方ができるよう、雇用環境の向上に取り組んだ。</p>	<p>法令遵守のもと、年次有給休暇の取得を推進した。また、時間外勤務削減等、効率化につながる勤務体制の見直しを行い、労働環境の整備に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">職員の雇用に関し必要な届出を行っていることを書面にて確認しており、適切に対応されている。</td></tr> </table>	A	B	C	D	職員の雇用に関し必要な届出を行っていることを書面にて確認しており、適切に対応されている。			
A	B	C	D								
職員の雇用に関し必要な届出を行っていることを書面にて確認しており、適切に対応されている。											

(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	<p>・利用者の安全確保 日常的に施設内外、ハイキングコース等の巡回を行い、危険個所の早期発見、迅速な初期対応により、利用者の安全確保及び施設利用の妨げにならないよう配慮し、整備に努めた。</p> <p>・市民サービス向上への配慮 利用アンケート調査を行い、利用者の満足度を測定するとともに、意見、要望等の把握に努め、寄せられた意見に対し誠実に対応した。</p> <p>・連絡体制確保 札幌市教育委員会、国営滝野すずらん丘陵公園事務所、滝野管理センター、関係機関との連絡体制を確立し、緊急時に迅速な対応をとれるよう備えた。</p> <p>・保険加入 万が一の場合に備え、各種損害賠償責任保険に加入した。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>建物・設備等の点検は、施設内外の劣化や機能の低下の有無について日常的に実施し、破損や不具合等については発見次第、早急に修理などの対応を行った。</p> <p>＜警備業務＞ 休館日及び夜間における施設の警備、施錠・開錠等、施設内外の警備を専門業者に委託し実施した。</p> <p>＜清掃業務＞ 施設内外の清潔感、衛生面を考慮し専門業者に委託した。特殊な技術が必要なワックス清掃なども特別清掃として同業者に委託した。</p> <p>＜塵芥処理業務・産業廃棄物収集運搬処理業務＞ 一般廃棄物、飲料缶・ビン・ペットボトル等の再生可能廃棄物、生ゴミ等の日常的な廃棄物について専門業者に委託し、定期収集により衛生管理上の問題が生じないよう処理した。また、産業廃棄物等については適時専門業者に依頼し処理した。</p>	<p>施設管理業務マニュアルを整備し、日常の点検方法等について定めるとともに、非常時においても職員が適切に行動できるよう、具体的な手順を記載した。</p> <p>日常的点検や整備により、常に良好な状態を保つよう管理した。また作業は、利用者の支障にならないように配慮した。</p> <p>職員間の情報共有を常に実施し、危険箇所の早期発見、故障の未然防止に努め、故障の際は迅速に初期対応を行うことで、利用者の安全確保に努めた。</p>	<p>日常的な点検、整備を実施し、危険個所が発見された際には速やかに職員間及び委員会のほか、関係機関にも報告のうえ適切に対応している。併せて、事故に備え必要な保障内容を含んだ保険に加入している。</p> <p>業務検査を通じて、法令や管理業務仕様書に沿って適切に対応されていることを確認した。</p>

法令に基づく管理項目

- 1.自家用電気工作物保安管理
(月次点検年12回実施/毎月、年次点検年1回実施/11月)
 - 2.受水槽・貯湯槽等消毒点検(年1回実施/5月)
 - 3.空気環境測定(年6回実施/偶数月)
 - 4.ねずみ衛生害虫等防除業務(年5回実施/4、8、10、12、2月)
 - 5.水質検査(年2回実施/6月、10月)
 - 6.屋内外雑排水管清掃(年2回実施/5月、11月)
 - 7.汚水槽・グリスピット清掃(年2回実施/5月、12月)
 - 8.消防設備点検(年2回実施/8月、12月)
 - 9.地下タンク・埋設管点検(年1回実施/8月)
 - 10.研修棟ボイラー煤煙濃度測定(年2回実施/9月、3月)
 - 11.研修棟ボイラー整備(年1回実施/7月)
 - 12.多目的ホールボイラー整備(年1回実施/7月)
 - 13.多目的ホール吸煙装置保守点検(昇降点検)
(年1回実施/11月)
 - 14.多目的ホール吸煙装置保守点検(排風機点検)
(年1回実施/11月)
 - 15.石油燃焼機器点検(年1回実施/8月)
 - 16.浴槽循環装置(ろ過器)清掃(年1回実施/3月)
 - 17.高温風暖房機保守点検(年1回実施/12月)
 - 18.建築物環境衛生管理技術者による点検(年6回偶数月)
 - 19.建築基準法12条に基づく設備点検(年1回実施/8月)
- ※すべて第三者(専門業者)委託による。

▽ 防災

訓練実施日	実施内容	想定内容
令和5年 5月11日	総合訓練 (消火、通報、 避難、災害対策)	火災、地震等を想定 しての総合訓練
令和5年 12月21日	部分訓練 (消火、避難、 災害対策)	冬季の災害を想定 しての部分訓練

防火管理者を配置し、南消防署へ自衛消防組織と消防計画を提出している。また、年2回消防訓練と救命講習を実施した。令和5年2月より、防火対象物点検特例認定施設として認定を受けた。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 青少年の集団生活・野外活動等の指導助言に関する業務				
	①施設利用に係る利用者への指導助言	利用状況や宿泊学習とその事前学習が円滑に行われるよう、プログラム等の紹介や事務手続きに関する説明は積極的にオンラインやホームページを活用し、情報提供を心掛けた。個別下見は件数が前年度より増え、より細やかな対応を心掛けた。また、出前授業では事業方針でもある探究や対話を大切に内容とし、相互理解を深めた。			
	②提供プログラム	通常の入入れ対応に戻ったことで、団体の活動幅が広がった分、山の家での活動ニーズも多岐にわたってきた。集団宿泊活動や野外活動が及ぼす教育的効果や可能性を考慮しながら、国営滝野すずらん丘陵公園等の自然環境を最大限に活用し実施した。また、環境教育・ESD及び様々な社会的課題の解決（SDGs）の視点を意識した魅力的な活動プログラムをモデルケースとして体験いただき、今後に向けて検証を行った。			

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

分類		活動プログラム
室内活動	動的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・室内キャンプファイヤー ・キャンドルサービス ・ソフトバレーボール ・バドミントン ・フォークダンス ・ニュースポーツ ・レクリエーション ・新規開発プログラム (館内いきもの探し)
	クラフト活動	<ul style="list-style-type: none"> 【セルフクラフト】 ・マイ箸づくり ・木のマグネット ・軟石クラフト ・風車 【ボランティア指導活動】 ・陶芸

▽ 青少年の集団生活・野外活動の普及・振興に関する業務

①体験活動の普及・啓発事業

これまで当財団が実施してきた自然体験活動事業のノウハウを最大限に発揮することを念頭に事業を展開した。

事業名	回数	参加人数
札幌市林間学校(協力)	夏季3回 冬季3回	190名 192名
空き室活用事業	7回	186名
あそびばざーる	1回	205名
地域連携事業 たきのの森フェス参加	2回	1467名
プログラム体験会	1回	32名
大人も子どもも宿泊学習	2回	74名

札幌市林間学校及びあそびばざーるでは札幌市教育委員会、札幌市野外活動教育研究会や滝野すずらん丘陵公園、ボランティア団体などの関係機関と連携し、主に小学生、保護者向けの自然体験プログラムを提供した。

令和5年度より札幌市林間学校の事務局を担っているほか、札幌市のこれまでの取組を踏まえた事業を実施しており、これらの事業を通じて関係団体との連携促進も図られている。

②社会課題に基づく事業

生涯学習及び誰一人取り残さない観点から、体験活動の普及振興と、体験プログラムの拡充を図ることを目的に実施した。

事業名	回数	参加人数
Re:滝野宿泊学習	9月3回 他2回	85名
防災体験事業	1回	18名

③指導者養成事業

野外教育に関わる指導者の養成、ボランティアの育成・活動支援を行い、更なる野外教育ネットワークの拡充・野外活動の普及振興に努めた。

事業名	回数	参加人数
自然体験活動ワークショップ	1回	16名
キャンプインストラクター養成講習会	1回	15名
ボランティアミーティング	4月2回 7月1回	11名
ボランティア活動支援事業	12回	31名
インターンシップ受入れ	1回	1名
社会教育主事実習受入れ	1回	1名

▽ 青少年の集団生活・野外活動等の調査研究に関する業務

独立行政法人国立青少年教育振興機構、日本キャンプ協会、北海道青少年教育施設協議会、CISEネットワーク、アウトドアフォーラムなど、これまで当財団が培ってきた他団体とのネットワークを最大限に活用し、野外活動に関する調査研究と最新の情報収集を行った。

Re:滝野宿泊学習では、厚生労働省の助成を受け、体験格差に苦しむ生活困窮世帯の子どもたちを対象に事業を実施し、体験活動の一助となった。防災体験事業は防災意識が高まる中、ニーズの高まりを感じる事ができた。

高校のボランティア部による活動の一環として山の家事業に協力いただいた。その中でもあそびばさるやトヨタソーシャルフェスなどの大きな事業にも高校生ボランティアに活躍いただいた。

関係機関と関わりを通して情報共有することで、施設運営についての振り返りや、ネットワークを繋ぐための有効な機会となった。

社会課題に基づく事業においては、経済的な格差により事業に参加できなかったり、新型コロナウイルスにより宿泊学習を経験できなかった子どもたちを対象とするなど、これまでと異なる視点で事業を展開している。

ボランティアミーティングを通じたプログラム開発や主催事業への指導機会を設けることでボランティアの活躍の機会を設けている。また、インターンシップや社会教育実習の受け入れも積極的に行っている。

関係団体との交流も積極的に行っており情報収集に努めている。

(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R4年度実績</td> <td>R5年度計画</td> <td>R5年度実績</td> </tr> <tr> <td>実利用人数(人)</td> <td>34,451</td> <td>30,000</td> <td>39,675</td> </tr> <tr> <td>閑散期の一般利用団体数(件)</td> <td>21</td> <td>30</td> <td>27</td> </tr> </table>		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績	実利用人数(人)	34,451	30,000	39,675	閑散期の一般利用団体数(件)	21	30	27	<p>市内小学校などの学校団体の利用は、コロナ前と同数まで回復傾向が見られた。しかし、利用申込みはあるが、交通費用の高騰や、貸切バスの確保できない等の影響でキャンセルも見られた。</p> <p>リピーターの定着とともに、新規利用者獲得のための利用促進と工夫を行っていく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 利用制限を解除したことなどにより利用人数は目標利用者数を上回る結果となっており、閑散期の一般利用団体も回復傾向が見られた。 利用促進の取組においては、引き続きリーフレットの活用や過去の利用団体への呼びかけに努めている。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	利用制限を解除したことなどにより利用人数は目標利用者数を上回る結果となっており、閑散期の一般利用団体も回復傾向が見られた。 利用促進の取組においては、引き続きリーフレットの活用や過去の利用団体への呼びかけに努めている。			
		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績																			
実利用人数(人)	34,451	30,000	39,675																				
閑散期の一般利用団体数(件)	21	30	27																				
A	B	C	D																				
利用制限を解除したことなどにより利用人数は目標利用者数を上回る結果となっており、閑散期の一般利用団体も回復傾向が見られた。 利用促進の取組においては、引き続きリーフレットの活用や過去の利用団体への呼びかけに努めている。																							
<p>▽ 不承認 0件、取消し0件、減免 228件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>利用促進活動としてリーフレット配布を行った。 また、利用実績のあった団体を中心に利用促進活動を行った他、当財団の多様な部門に対して利用促進を図ることにより、施設利用稼働率の維持向上に努めた。</p>																							
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>ウェブアクセシビリティへの取り組みとして、利用者がより閲覧しやすい内容を検証しホームページの修正を随時行った。また、SNS(Facebook、Youtube等)も活用し、施設運営の様子を公開するなど施設の魅力発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっぽろ・こども情報紙「あそぼ」発行(年6回:各95,000部) ・SNS(Facebook、Youtube等)の公開 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前年度からの継続のため、引継ぎ業務は特になし</p>	<p>既存の広報媒体に加え、刷新したホームページも有効に活用した。引き続き、利用促進を目的に、積極的な広報活動に取り組む。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> HPやSNS等を通じて施設のPRや情報提供を行っており、掲載内容などについても適宜見直しが図られている。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	HPやSNS等を通じて施設のPRや情報提供を行っており、掲載内容などについても適宜見直しが図られている。															
A	B	C	D																				
HPやSNS等を通じて施設のPRや情報提供を行っており、掲載内容などについても適宜見直しが図られている。																							
2 自主事業その他																							
▽ 自主事業		<p>自主事業は関係機関より要請を受けて実施し、トヨタソーシャルフェスでは高校生ボランティアが活躍した。また、トランクキット事業は環境教育の推進につながった。</p> <p>一般団体の利用回復と、提供物品が増えたことに伴い売上金額が向上した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 自主事業の実施状況が承認内容と同一であり、かつ、区分経理がなされている。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	自主事業の実施状況が承認内容と同一であり、かつ、区分経理がなされている。															
A	B		C	D																			
自主事業の実施状況が承認内容と同一であり、かつ、区分経理がなされている。																							
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>回数</td> <td>参加人数</td> </tr> <tr> <td>トヨタソーシャルフェス</td> <td>1回</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>駒岡小学校講師派遣</td> <td>2回</td> <td>240名</td> </tr> <tr> <td>歩くスキー出前授業</td> <td>14回</td> <td>894名</td> </tr> <tr> <td>ヒグマトランクキット事業</td> <td>3回</td> <td>78名</td> </tr> </table> <p>【売店での物品販売及び自動販売機の設置】 窓口にて物品販売を行うほか、自動販売機による清涼飲料水及び氷菓やスナック菓子等の軽食の提供を行い、利用サービスの向上に努めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>売上金額(物販)</td> <td>82,290円</td> </tr> </table> <p>(令和4年度実績:63,490円)</p>		事業名	回数	参加人数	トヨタソーシャルフェス	1回	52名	駒岡小学校講師派遣	2回	240名	歩くスキー出前授業	14回	894名	ヒグマトランクキット事業	3回	78名	売上金額(物販)	82,290円					
事業名	回数	参加人数																					
トヨタソーシャルフェス	1回	52名																					
駒岡小学校講師派遣	2回	240名																					
歩くスキー出前授業	14回	894名																					
ヒグマトランクキット事業	3回	78名																					
売上金額(物販)	82,290円																						



▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 委託業務や物品の購入、パンフレットの印刷等、業務内容に合わせて、市内企業を中心に専門技術を有する企業に業務を依頼した。		市内企業の積極的な活用へ向け、職員間で情報共有を図った。			
3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果					
実施方法	入館時に各団体にアンケートを依頼し、退館時に回収した。方法としては紙面での回答の他にオンラインを用いた方法で行った。				
結果概要	配布数:390件 回収数:244件(回収率:62.5%) ・利用のしやすさに対する満足度 91%(目標:88%以上) ・職員の接遇に関する満足度 96%(目標:85%以上) ・活動プログラムに対する満足度 94%(目標:85%以上) ・総合満足度 97%(目標:85%以上)				
利用者からの意見・要望とその対応	【主な意見①】 ・計画段階から小さなことでも質問に丁寧に答えてくださってありがたかった。 ・出前授業に来てくださって、当日の活動にスムーズに取り組むことができた。また、職員の方のお話ということもあり、子どもたちの意欲が大変高まった。 ・職員の皆さんがいつも笑顔で対応してくださったので、楽しい雰囲気が作りやすかった。 【主な意見②】 ・シャワー室がもう1か所あるとよりありがたいと思いました。留学生は大浴場を嫌がる傾向のようです。 ・よさこいチーム特有の悩みですが、HPの施設紹介に各部屋の広さや天井高さを記載していただけると更に利用しやすい。 【対応】表示方法について今後検討します。 【主な意見③】 ・くわの実は歩くスキーの練習で中学生が活動するには狭いかもしれない。風のはらっぱの圧雪をしていただけと助かる。スキー板に雪がつきやすい。 【対応】適宜フィールドを確認します。圧雪作業は公園事務所に依頼をしております。 【主な意見④】 ・食事の量を少し増やしてほしい。(みんながおかわりできるくらい) 【対応】食事量を増やしたい場合は発注数を増やしていただくことを推奨します。	食事が8大アレルギー除去食に変わったことで学校から感謝のご意見が多く寄せられた。また、ホームページやYoutube動画を見やすく工夫したことに関しての反応もあり情報収集媒体として効果を発揮していることがご意見からも伺えた。 また、施設や備品の使用についてのご意見も頂いているため、検討しながら快適な利用に向けて改善を考えたい。			
		A	B	C	D
		利用者満足度については、すべての項目で仕様書に定める目標水準(各項目の満足度80%)を10ポイント以上上回っており、安定したサービス水準を維持している。			

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	198,370	206,527	8,157
指定管理業務収入	197,518	204,149	6,631
指定管理費	127,294	128,815	1,521
利用料金	60,063	71,374	11,311
その他	10,161	3,960	▲ 6,201
自主事業収入	852	2,378	1,526
支出	199,181	211,646	12,465
指定管理業務支出	198,599	210,623	12,024
自主事業支出	582	1,023	441
収入-支出	▲ 811	▲ 5,119	▲ 4,308
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 811	▲ 5,119	▲ 4,308

▽ 説明

・収入については、学校団体の利用が回復傾向にあったこと、食堂料金の値上げの影響もあり、利用料金が計画対比11,311千円に増加した。
 ・支出においては、利用団体数増加に伴い委託費等が増加となった。また、原油価格高騰により電気料金、燃料費の価格が上昇し、支出が増加した。

適正かつ計画的な執行に努めた。収入合計は、利用の回復傾向から昨年度より増収となった。支出は利用数増加と価格高騰により、消耗品費や委託費が増加したが、光熱水費灯油や電気使用量の節約に努め予定より支出を抑えることができた。今後も収支の安定した運営を目指し、創意工夫していく。

A B C D
 支出面では委託費や光熱費の高騰など、予測の難しい状況により計画よりもマイナスとなっているが、収入の面では、利用制限の解除に伴う利用料金増のほか、自主事業の積極的な実施の結果、計画よりも増収となっている。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

利用団体のコロナ前の回復傾向が見られ利用料金収入が増加に転じた。支出については併せて食堂委託費に係る経費が大きくかかった。光熱水の使用量については利用節約に努めた結果、前年度を下回ることが出来た。引き続き、光熱費の節約と安定的な運営を行えるよう、収支の適正化に努める。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

・各条例、規定に則って適切に対応した。
 ・情報公開請求はなかった。
 ・オンブズマンの実地調査はなかった。
 ・札幌市暴力団の排除の推進に関する条例の基本理念に則り、暴力団の活動に施設を利用させない、委託や物品購入など暴力団や暴力団関係者を契約の相手方としない等、暴力団排除に取り組んだ。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
<p>①各種事業への取り組みについて 今期は『体験をとことん楽しむ“探究の家”』のもと、互いの自由とウェルビーイングを尊重しあうことを土台として展開した結果、少しずつ成果が見え始めた。大人子ども宿泊事業や、空き室活用事業では新たな利用者獲得やリピーターにつながるケースも見られた。札幌市林間学校に参画したことにより教育委員会、野活研等との連携はさらに深まった。Re滝野事業では文科省委託事業として、北海道教育大学と連携し効果検証に取り組んだ。あそびばさ～るでは体験活動に関わる外部団体を引き寄せ新しい事業となった。</p> <p>②組織効率化に対する取り組みについて 「ムリ・ムダ・ムラ」が生じないよう効率化を進めた。主に食堂委託業務仕様書を見直したことで燃料、光熱水費の使用量削減につなげた。また日常的管理業務の見直しを進めた結果、前年度に比べ利用受入れ、事業の回数が増加しながらも、管理費の増加を抑制することができた。また、文科省委託事業では、こども事業課との共催により、経済的課題を抱える家庭の参加者に体験機会を提供することができた。</p> <p>③収支状況の管理について 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用制限が撤廃され一般団体の利用も回復傾向となった。食堂利用料金を値上げしたことも重なったが、利用料金収入が増加した。その他、空き室活用事業を筆頭に宿泊事業を実施したことで参加料・受講料収入も増加した。費用では人件費を抑制した他、食堂委託事業で光熱水費の取扱いを見直したことや燃料・光熱水の使用量削減を徹底し費用の増加を抑制した。反面、レジオネラ属菌による消毒清掃費用がかさみ収支状況は赤字となった。</p>	<p>方針を『探究と対話の家』とし、『体験をとことん楽しむ探究の家』に『公正な社会をうみだす対話の家』を加え、引き続き互いのウェルビーイングを尊重しあうことを土台に、社会的意義と対話をテーマとして管理運営に取り組む。</p> <p>①利用者ニーズや学校教育の動向をとらえたプログラムの充実化と戦略的な広報活動を行い、市内小学校の利用継続と新規利用団体を獲得することで利用者数の増加につなげる。</p> <p>②業務内容の見直しや改善、デジタルツールの導入等を行い事務、管理業務の簡便化を図る。また、利用者の利便性向上と手続きに関する効率化と簡素化に向けて整備を進める。</p> <p>③物価上昇に対応するため、施設の運営方法や使用料金等を見直し収支バランスの改善を図る。また、委託費の増加を抑えるために工夫、職員体制の見直しなど、効率的な管理運営に取り組む。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナウイルスへの対応あたっては、令和5年度より、利用者に対し基本的な感染対策を呼び掛けただうえで、通常時の定員である1日400名を目安として受け入れを行ったところ、利用者数は昨年度を大幅に上回る結果となった。</p> <p>日常業務においては、丁寧な利用者対応はもとより、魅力的なプログラムを提供がなされており、利用者満足度においては、引き続き高水準を維持し続けている。</p> <p>また、事業においては、社会状況に応じて事業の方向性について適宜見直しが図られており、それらを踏まえたプログラム開発・実践も行われている。</p> <p>一方で、収支の面においては、委託費や光熱費の高騰に伴う支出増により、計画通りの収支とはならなかったものの、省エネについて利用者へも呼びかけを行うなど支出の削減に努めているほか、自主事業の拡充や国の補助金を活用するなど、収入の確保にも尽力している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き社会情勢や市民ニーズ等を踏まえ、関係団体とも連携しながらサービス水準の維持向上に努めていただきたい。 ・閑散期の利用促進のため新規利用の獲得にあたっては、これまでの利用状況を踏まえてターゲットを見定めた上で、最適な施設のPR方法や事業を構築するなど、具体的に方向性を定めて検討を進めていただきたい。